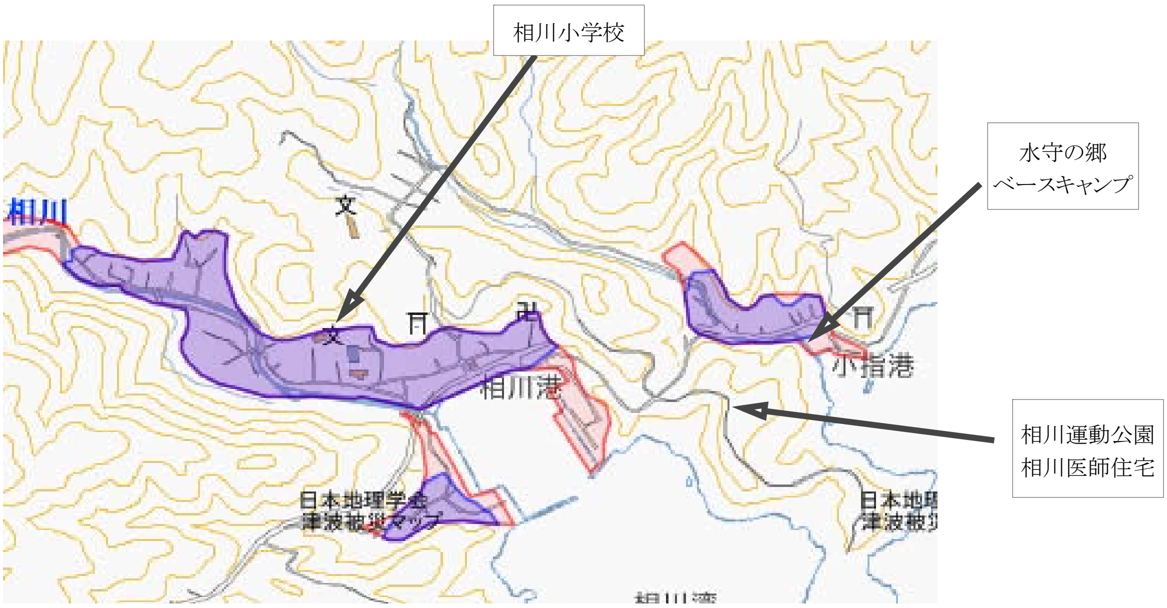
宮城県　現地調査および打合せ

石巻市十三浜、北上川河口地域

日程　2011 年 9 月 21 日～9 月 22 日
報告　特定非営利活動法人山の自然学クラブ　中村華子
（協力団体：特定非営利活動法人水守の郷・七ヶ宿）

○相川地区、小指地区の概要地図



2011 津波遡上範囲（日本地理学会 津波被災マップ）　相川・小指地区

北上川河口に近い、北上町橋浦付近

石巻市知多上町十三浜相川　相川

9 月 21 日夜に通過した台風 15 号の豪雨により、すべての河川が増水していた
地盤沈下が大きい地区であり、低地や海岸沿いの土地や道路が冠水した箇所も多かった
北上川河口付近では増水した川の水位は地面高よりも高くなっており、内陸の水田は水位数十 cm の浸水がみられた。
また、谷の狭い沢では鉄砲水が発生し、沢沿いの家屋は何件か被災したところがあった

（上）相川小学校と小学生が避難した祠
（右）祠から見た相川の港
相川小学校の前では、水守の郷により、小学生が総合学習で使用していた場所を耕して小さな菜園「相川の郷」が作られた。現在は地域の方が野菜栽培に利用している

三陸地域ではすべての入り江ごとに港があり､その内陸に位置する谷に沿った平地に住宅が建ち、耕地がある。水源は谷の上流から引いて使用していることが多い。平地から林地となる傾斜地にはスギ人工林が続く。
今回津波が浸水した地面高までに植栽されていたスギは葉枯れを起こしている。土壌が波に流されたり漂流物がぶつかって、倒れている、もしくは倒れかかっている立木も多くみられる。水守の郷および古川林業有志の方々により、流木や倒木の一部は玉切りし、製材し始められている。

小指に作られた水守の郷　ベースキャンプ
もとササキ設計　事務所オフィスを改築

ササキ設計・佐々木文彦さんは、国産材を使い日本の伝統の家づくりを活かした木の家づくりをするつくり手の集まりである「職人がつくる木の家ネット」会員の建築家である

木の家ネット　http://kino-ie.net/

小指の水守の郷ベースキャンプ裏手に作られた、蕎麦の畑「小指の郷」

北上町十三浜　相川運動公園にある
医師住宅（石巻市福祉課の管理）

地域に医師を招くために 2003 年にたてられた住居であるが、これまでは使用されていなかった。相川運動公園に建設された仮設住宅の入り口に立地しているため、ここに入居している地域の方が利用したり、近親の方を泊めることができるように整備しなおして利用している。

水守の郷・七ヶ宿などボランティアが訪れると、地域で新しく始める買い物支援や送り迎えをする等の住民によるサービスについての相談や、チラシの作成依頼などのため、地域の方も集まっている。
現地にはパソコンがないため、ボランティアスタッフが持参したパソコンやプリンタにより必要な書類や配布用の資料を作成したりしている。

この日はちょうど、小諸エコビレッジから、刺し子の作業委託のサンプルが届き、早速作業に取りかかっていた。

冬物衣料の撮影用サンプル作成の仕事を打診されているそうで、今回は試行とのこと。
今回の仕上がり具合によって作業を請け負うことができるかどうか決まるそうで、地域の女性たちは真剣に取り組む